

コールドイホット 染め方説明書

必ず本説明書をお読みになってからご使用ください。



- ・色生地を染める場合、生地の色が染め上がりに影響することがあります。
 - ・レースや刺繍など、部分的に異なる材質の繊維が使用されているものは、全体の色調が均一にならない場合があります。
 - ・同一繊維の布でも、織り方や加工により色調が異なる場合があります。
 - ・ドライクリーニング表示のあるもの、型くずれしやすいものなど、取り扱いの難しいものは染色には適しません。
- また、高価なもの、大切なものの染色もさせていただきます。



よく染まる繊維

植物繊維 など

- ・綿
- ・麻
- ・レーヨン
- ・キュプラ
- ・ビニロン

動物繊維 など

- ・絹
- ・毛（ウール）
- ・ナイロン
- ・ポリウレタン



淡く染まる繊維

- ・ポリエステル
 - ・ポリエステル混紡品
- ※ポリエステル100%の場合、ポリエステルダイで、より濃く染まります。



染色に向いていない繊維

- ・アクリル
 - ・アセテート
 - ・防水（樹脂）加工された繊維
- ※染まりにくい繊維が混紡されている場合は、その分染め上がりが淡くなります。（混紡率により色味が異なる場合があります）

準備するもの

Tシャツ 1枚（布約125g）を染める場合

※必要な染料の量は染めるものの重さに対して8%が目安です。



- 染料：本品 1包（10g）



- 染色容器（ポリ容器・鍋など）：
布がゆったり動かせるくらいの
大きさの容器
- 85℃以上のお湯約 4.5ℓ



- 助剤（塩か酢）
※染める繊維に
よって異なります



- 染める布
（乾いた状態）
ここではTシャツ
1枚分約125g



- 染料を溶かす
耐熱容器
※容量1ℓ程度



- 染料を溶かす
熱湯約500ml



- 台所用液体
中性洗剤



- 箸

助 剤

染める繊維に合った助剤をお使いください

植物繊維 など

動物繊維 など

ポリエステル・
ポリエステル混紡品

植物・動物繊維の混紡品

塩 約40g

染め液1ℓに対し約8g（大さじ約1/2杯）

酢 約65ml

染め液1ℓに対し約13ml（大さじ約1杯）

ポリエステルは助剤を使用しません
※植物繊維などの混紡品は塩約40g、
動物繊維などの混紡品は酢約65ml
を使用してください。

塩 約40g と 酢 約65ml
塩で染色後、お酢で染めてください。
△助剤を入れる順番を間違えると染まりません。

≫ 染め方は裏面をご覧ください。

ポリエステル混紡品の濃色染め

別売のポリエステル繊維濃色染め用「濃色促進剤」を併用して加熱染色（90℃程度）してください。
※詳しい使用法は「濃色促進剤」の説明書をご覧ください。
※加熱染色：火にかけながら染色します。

脱色または、薄い色に染めかえる場合

別売の「みやこ染の脱色剤」をご使用ください。
※詳しい使用法は「みやこ染の脱色剤」の説明書をご覧ください。
※化学繊維の中には色が抜けにくいものもあります。
※塩素系漂白剤を使用している染め直しはしないでください。（変色する恐れがあります）
※ポリエステル繊維は脱色できません。

染め液の後処理

染め液はステンレスシンクなどで水を流しながら、排水溝めがけて捨ててください。陶器の洗面台などは色が付着する場合があります。

使用上の注意

- ①作業をするときはゴム手袋の着用をおすすめします。
- ②皮膚についたときは石けんでよく洗ってください。
- ③染色容器に色が付着する場合があります。
- ④染色に使用した鍋やボウルなどでの調理はお控えください。
- ⑤染色した布は、他のものと一緒に洗濯をさけてください。
- ⑥幼児の手の届くところに置かないでください。
- ⑦絶対に飲まないでください。誤って飲み込んだときは、水で口をすすぎ、また、目に入ったときは多量の水で洗眼して、医師の診断を受けてください。
- ⑧保管するときは、高温・多湿・直射日光をさけてください。
- ⑨用途以外のご使用および、説明書に記載されていない方法で使用した場合に不都合が生じて、製品の性質上、当社は責任を負いかねます。

MADE IN JAPAN 国内自社生産



桂屋ファイングッズ 株式会社

東京都中央区日本橋小舟町14-7

<https://www.katsuraya-fg.com/>

「よくあるご質問」
「お問い合わせ」は
公式サイトまで▶



染め方

Tシャツ1枚を染める場合

ゴム袋の着用をおすすめします

染色ポイント

- 淡色にするには染料を減らす(助剤は規定量を使用する)
- 染料は自由に混色できる

- 濃くする方法(1〜3の組み合わせも可)
 1. 染色温度を上げる(加熱染色)
 2. 染料および助剤を増やす(1.5〜2倍 ※助剤も同比率で増やす)
 3. 染色時間を長くする(30〜60分くらい)

▼植物繊維、動物繊維、ポリエステル、それぞれのQRコードから、染め方の動画をご覧いただけます。

植物繊維 など
綿・麻・レーヨン
キュブラ・ビニロン



動物繊維 など
絹・毛(ウール)
ナイロン・ポリウレタン



※繊維の性質上、急激な温度変化や、粗雑な扱いをすると繊維が縮むのでご注意ください。

ポリエステル・
ポリエステル混紡品

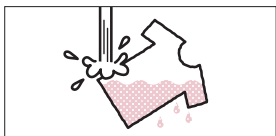


ポリエステルと綿の混紡品・
ポリエステルと毛(ウール)の混紡品など

植物・動物繊維の混紡品

混紡品を染めるときは、それぞれの繊維に必要な助剤(塩と酢)を順番に使います。
△ 助剤を入れる順番を間違えると染まれません。

① 布を洗う



染めるものの汚れ・しみ・のり気洗い落として濡れたままで置きます。
※濡れていないと染めムラの原因になります。

② 染料を溶かす



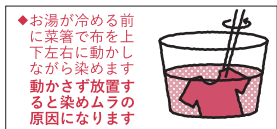
染色容器とは別の耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。
※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



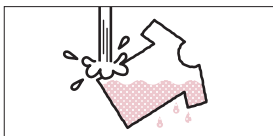
染色容器にお湯(85°C以上)を約4.5ℓ用意し、②の染料と、塩約40gを加え、計約5ℓとします。

④ 布を入れ、20〜30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20〜30分染めます。

① 布を洗う



染めるものの汚れ・しみ・のり気洗い落として濡れたままで置きます。
※濡れていないと染めムラの原因になります。

② 染料を溶かす



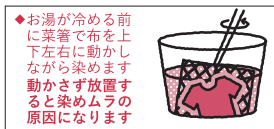
染色容器とは別の耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。
※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



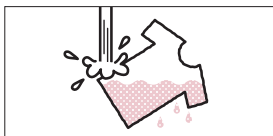
染色容器にお湯(85°C以上)を約4.5ℓ用意し、②の染料と、酢約65mlを加え、計約5ℓとします。

④ 布を入れ、20〜30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20〜30分染めます。
※毛糸・毛繊維は縮みやすいので、静にかきまぜながら染めます。また、目の粗いゴミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

① 布を洗う



染めるものの汚れ・しみ・のり気洗い落として濡れたままで置きます。
※濡れていないと染めムラの原因になります。

② 染料を溶かす



染色容器とは別の耐熱容器に染料を入れて、熱湯約500mlで粒が残らないようによく溶かします。
※溶けにくいときはお湯を加えます。

③ 染め液を作る



染色容器にお湯(85°C以上)を約4.5ℓ用意し、②の染料を加え、計約5ℓとします。
※植物繊維などの混紡品はここで塩約40gを、動物繊維などの混紡品は酢約65mlを加えてください。
※加熱染色すると濃く染まります。
さらに別売の「濃色促進剤」を使い加熱染色するとより濃く染まります。

④ 布を入れ、20〜30分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約20〜30分染めます。

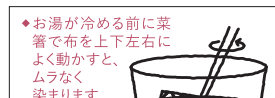
植物繊維の工程の①〜②

③ 染め液を作る



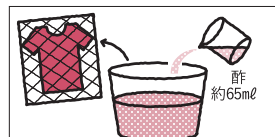
染色容器にお湯(85°C以上)を約4.5ℓ用意し、②の染料と、塩約40gを加え、計約5ℓとします。

④ 布を入れ、10〜20分染める



濡れた①を広げて入れ、かきまぜながら約10〜20分染めます。
※毛糸・毛繊維は縮みやすいので、静にかきまぜながら染めます。また、目の粗いゴミ袋に入れて染めると、縮みを防ぐことができます。

⑤ 布を取り出して酢を入れる



布を取り出した染め液に酢約65mlを加えます。

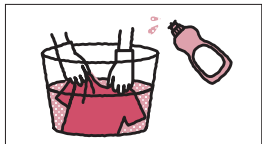
⑥ 布を入れ、10〜20分染める



布を染め液に戻して、さらに約10〜20分染めます。

ソーピング(洗い)へ

① めるま湯で洗う



染め液から取り出し、めるま湯(30°C以上)で軽くすすいだあと、台所用液体中性洗剤を溶いためるま湯で洗います。
※毛(ウール)・ポリエステルは急な温度変化を与えると、繊維が縮みますので、少しずつ温度を下げながら洗ってください。

② 水ですすぐ



さらに水ですすぎます。

色止め

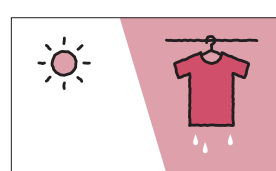
植物繊維など

綿・麻・レーヨン・キュブラ・混紡品は別売の「色止めミカノール」で色止めすると洗濯での色落ちを減らせます。
※ビニロンは色止め不要です。

動物繊維など

ポリエステル
色止め不要です。

③ かげ干しして完成



脱水してかげ干しし、アイロンをかけたら完成です。
※染色したものと他のものを一緒に洗濯することはしないでください。

ソーピング(洗い)